

(表2の続き)

◆イ. 歳出の抑制

①職員人件費の抑制(削減指標：減額(▲)の場合は達成)

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	概 要
職員人件費の削減	達成	77億7,900万円	77億7,700万円	▲200万円	定員適正化計画に沿って順調に職員数削減が進んだことから、目標額に比べ200万円削減が進みました。

②公債費負担の軽減(削減指標：減額(▲)の場合は達成) ※数値は平成20年度からの累計額

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	概 要
普通会計の公債費の削減	達成	▲6,300万円	▲7,400万円	▲1,100万円	借換債の借入利率が低かったことから、目標額に比べ1,100万円削減が進みました。

③経常経費の総額抑制(削減指標：減額(▲)の場合は達成)

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	概 要
物件費の削減	未達成	45億6,700万円	56億9,100万円	11億2,400万円	クリーンセンターの稼動や指定管理者制度への移行による委託料の増加、原発事故の風評被害対策などにより、目標額に比べ11億2,400万円削減が進みませんでした。

④補助金の整理合理化(削減指標：減額(▲)の場合は達成)

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	概 要
補助金の削減	改善	8億600万円	8億9,800万円	9,200万円	既存の補助金は整理統合し改善できましたが、分譲地公共施設整備事業補助金や在宅介護オアシス支援事業補助金などが増え、目標額に比べ9,200万円削減が進みませんでした。

⑤特別会計繰出金の抑制(削減指標：減額(▲)の場合は達成)

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	概 要
自家用有償バス事業の基準外繰出の削減	改善	1,600万円	2,500万円	900万円	県補助金の減などにより、目標額に比べ900万円削減が進みませんでしたが、運行形態の見直しなどで使用料収入は1,100万円となり、平成18年度(900万円)より増収させることができました。

◆ウ. その他の施策(数値目標などのあるもの)

①都市計画税課税区域等の見直し

項 目	達成状況	平成21年度決算額	平成22年度決算額	比較	概 要
都市計画税の課税区域を平成22年度に見直す	達成	3億3,000万円	4億7,000万円	1億4,000万円	平成22年度に課税区域を見直し、都市計画区域内の下水道供用開始区域を対象としたことから、前年度に比べ1億4,000万円の増収となりました。

②財政調整基金依存体質からの脱却

項 目	達成状況	年度	財政調整基金年度末残高	繰入(▲)または積立額	概 要
財政調整基金繰入額を各年度10億円未満とし、順次逡減していく	達成	平成20	39億2,000万円	－	職員定員適正化計画による人件費の抑制や地方交付税の増額などにより、各年度とも財政調整基金の繰り入れは行わず、計画期間内に約5億円を積み増すことができました。
		平成21	39億9,000万円	7,000万円	
		平成22	44億4,000万円	4億5,000万円	
		平成23	44億4,000万円	0万円	

③合併特例債の計画的な発行

項 目	達成状況	目標額	実績額	執行率	概 要
平成27年度までの合併特例債の発行については、254.3億円を目安とする	未確定	254億3,000万円	198億2,000万円	77.9%	平成18～23年度の6年間の発行額はおよそ198億円で、計画期間の前半に合併振興基金の積み立てやクリーンセンター建設などの大規模事業があったため、執行率は78%と高めですが、ほぼ計画どおりの執行となっています。

水道事業経営健全化計画の実施状況

水道事業経営健全化計画は、将来的に安全安心な水道の安定供給を維持するため、「健全で効率的な経営」「安全で良質な水の安定供給」「安全で良質な水の安定供給」

また平成23年度の経営状況は、原発事故の風評被害により観光客が減少し、給水収益は前年度比1億4、

667万円の減収となりました。しかし、この状況でも健全で効率的な経営に努めたことで、2、824万

円の利益を上げることができました。

第2期経営健全化計画の方針

今回は、第1期計画(計画期間は平成20～23年度の終了に伴い、4年間の実施状況などをお知らせします。

第1期計画の実施状況など

第1期計画は「健全で効率的な経営」7項目、「安全で良質な水の安定供給」11項目、「自然環境の保全」3項目、「利用者サービスの向上」4項目の計25項目の課題を定め

ました。このうち「達成」は20項目、「一部達成」は3項目となり、23項目で一定の成果を上げることができました。

表1：具体的目標および各施策の実施状況

項 目		達成状況
健全で効率的な経営	1 健全な経営基盤の確立	
	①総合計画の策定	達成
	②財政計画の策定	達成
	③適正な料金水準の確立	達成
	④未収金残高の縮減	一部達成
	⑤計画的な企業債発行	達成
	2 簡素で効率的な経営体制の構築	
安全で良質な水の安定供給	①組織、事務事業の見直し	達成
	②人材育成	達成
	1 水質の安全性確保	
	①水質管理の強化	達成
	②残留塩素濃度の確保	達成
	③貯水槽方式給水の適正管理指導	達成
	④直結給水、直結増圧給水の推進	一部達成
	2 計画的な施設の整備、更新	
	①中長期的な施設整備計画の策定	達成
	②計画的な施設更新、改良	達成
	③老朽化する施設の維持管理	達成
	④老朽管の更新	達成
	3 災害・事故対策の強化	
	①危機管理体制の確立	達成
	②防災訓練の実施	達成
	③漏水防止対策	達成
自然環境の保全	1 自然エネルギーの活用	
	①小電力発電装置などの導入検討	導入見送り
	2 資源リサイクルの推進	
	①浄水場発生土の有効利用	達成
利用者の向上	②工事で発生する土やアスファルトなどの再利用	達成
	1 利用者の利便性向上	
	①多様化するニーズへの的確な対応	一部達成
	②水道料金納入の利便性向上	導入見送り
	③緊急修繕体制の強化	達成
	2 情報公開の推進	
	①広報活動の充実	達成

○組織の統廃合で事務を集約し、平成27年度末までの営業費用(総係費)の削減額累計1億円を目指します。

○企業債残高を、平成27年度末に100億円以下とします。

○施策の効果額として、平成27年度末までに2億6、000万円以上を目指します。